
鳩時計の思うこと

コスミ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鳩時計の思うこと

【Nコード】

N3910Y

【作者名】

コスミ

【あらすじ】

鳩時計は、何を思っているのだろう。

12時。

鳩時計が12回、パツポー、パツポー……と連続して鳴いた。直後にそそくさと引っ込んだその鳥は、暗い時計の内部で思った。

私は鳩ではない。カツコウだ。

そりゃ、そうでしょう。だいたい、カツコウ、カツコウと鳴いているのだから。

それなのに、どうやったら鳩なんかと間違えるんだ。日本人の馬鹿あほんなら。“アホウドリ”とか命名してる場合か。お前からこそアホウじゃ。

そんでまた、間違われてるのがあの鳩つてのが、もの凄く気に入くない。

もう、あいつら、何あれ。何がしたいの？ わけわからんよあんな鳥。

絶対おかしいよあの首。何かクカク前後に……こう、やるの？ 気持ち悪いよ、もっと生き物らしくしろよ。自然に生きるよ。

不快かつ不自然きわまりないよ。もう、マシンというか、からくりだよあれ。私よりもからくりだよ。

本当まじ意味わからんあいつら。わざとかな、あれつて。わざとだとしたら、かなり無謀なギャグだよな。……まあ、どちらにせよアホか。

もうあいつらが“アホウドリ”でいいじゃない。餌付けされやがって。恥を知れ。

あんなグレーな鳥ども、中国みたいに食べてしまえよ日本人。ガッツ見せろ。

ハトサブレーに練り込めばいいんだよ。ウナギパイみたいに。ハト

エキスだかハトパウダーにしてさ。

そうだよ。もう日本人ほんとそういうとこいい加減。

だって、ハトサブレーにハト入ってないし、たい焼きにも鯛入ってないでアンコ入ってるし……。

鳩時計にカツコウ入ってるしな！

あゝ　　っ！　もう！　もうっ！

もーう！　さつきからうつさいんじゃカチカチカチカチとこの時計！　アホか！　時なんか刻むな馬鹿！　刻まれる時の身になってみる！　カチカチカチカチとまあ飽きもせず……馬鹿か！　このアホウ……いや、鳩！　この鳩が！

ああ……、もうカチカチカチカチと……鳩の首思い出すわ！

カクカクカチカチカクカクカチカチ……。
カクカチカクカチカクカクカク……。
カクカクカクカクカクカクカク……。

鳩時計は正確に動き続けていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3910y/>

鳩時計の思うこと

2011年11月10日03時13分発行